



## 介護福祉士国家試験対策講座

### < 総合問題編 >

～学習方法と出題ポイントを理解しよう～

1

### 講義内容

1. 総合問題でおさえるべき内容の理解
2. 総合問題のポイントの理解
3. 過去に出題された国試から出題傾向と内容の理解



総合問題は、基礎知識の積み重ねである。  
利用者の日常的な生活のなかにあてはめて問題が作成される。

2

### 1. 総合問題のおさえるべき内容の理解

#### 1) 科目のねらいの確認

①介護福祉士国家試験の4領域（人間と社会、介護、  
こころとからだのしくみ、医療的ケア）全12科目を  
横断的に問う問題で事例形式で出題される。

#### 2) 大事なポイント

- ①4領域（人間と社会、介護、こころとからだのしくみ  
医療的ケア）の知識を総合的に活用して解答するもの
- ②落ち着いて解答すれば確実に得点できる問題も多く  
あることを念頭において問題を解くことが大事

3

### ②最低限おさえるべき内容

- 高齢者領域と障害者領域の制度、疾患、障害に関する知識を押さえること。
- 利用者の自立支援等に配慮した適切な支援の方法
- サービスの種類
- サービスに携わる職種に課されている役割

など

※得点を重ねるためには、12科目それぞれをどれだけ学習したかがポイントになる

4

## 2. 総合問題の理解のポイントの理解

### 1) 総合問題の理解について

出題数は、**4事例ありそれぞれ3問ずつ出題される(12問)**

⇒介護福祉士として、介護福祉におけるさまざまな実践のうち、標準化された生活支援技術の知識に加え、社会保障制度や関連諸法に関する知識、疾病や障害など医療に関する知識を身につけて挑むことが大切である

5

## 3. 過去に出題された国試から出題傾向と内容の理解

<総合問題1> (第32回)

次の事例を読んで、問題114から問題116までについて答えなさい。

〔事例〕

Lさん(78歳、女性)は一人暮らしをしている。「もったいない」が口癖で、物を大切に、食べ物を残さないようにして生活している。半年前、脳の細い血管が詰まっていることがわかり、入院して治療を受けた。左半身にしびれがあり、右膝の変形性関節症(osteoarthritis)で痛みもあったために、介護保険の申請をしたところ、要介護1になった。家事はできるだけ自分でしたいという希望から、週に2回、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用して、掃除と調理を訪問介護員(ホームヘルパー)と一緒にしている。

6

### 問題114

Lさんが入院するきっかけになった脳の疾患として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ラクナ梗塞 (lacunar infarction)
- 2 くも膜下出血(subarachnoid hemorrhage)
- 3 慢性硬膜下血腫(chronic subdural hematoma)
- 4 正常圧水頭症(normal pressure hydrocephalus)
- 5 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)

7

### 問題115

ある日、Lさんと一緒に調理していた訪問介護員(ホームヘルパー)は賞味期限が2日前に切れた缶詰を見つけた。

Lさんに対して訪問介護員(ホームヘルパー)がとる行動として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 黙って処分する。
- 2 食べてはいけないと伝える。
- 3 食べやすいように、缶のふたを開けておく。
- 4 食べ方を相談する。
- 5 保存容器に移して保管するように勧める。

8

**問題116**

介護保険の申請をしてから半年がたち、更新申請の時期になった。この半年でLさんは、訪問介護員(ホームヘルパー)が来ない日もいすに座って調理をするなど、回復してきている。更新申請の結果、Lさんは要支援1になった。

次のうち、Lさんの介護予防サービス・支援計画書を作成する者として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問介護事業所の訪問介護員(ホームヘルパー)
- 2 生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター
- 3 地域包括支援センターの主任介護支援専門員
- 4 訪問介護事業所のサービス提供責任者
- 5 生活介護のサービス管理責任者

9

**総合問題 3(第33回)**

次の事例を読んで、問題120から問題122までについて答えなさい。

**〔事例〕**

Aさん(10歳、男性)は、自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder)であり、多動で発語は少ない。毎日のように道路に飛び出してしまうたり、高い所に登ったりするなど、危険の判断ができない。また、感情の起伏が激しく、パニックになると止めても壁に頭を打ちつけ、気持ちが高ぶると騒ぎ出す。お金の使い方がわからないため好きなものをたくさん買おうとする。現在は特別支援学校に通っており、普段の介護は母親が一人で担っている。

10

**問題120.**

Aさんのこのような状態に該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 注意障害
- 2 遂行機能障害
- 3 強度行動障害
- 4 記憶障害
- 5 気分障害

11

**問題121.**

Aさんの将来を考えて、家族以外の支援者と行動できるようにすることを目標に障害福祉サービスを利用することになった。介護福祉職と一緒に散歩に行き、外出時のルールを覚えたり、移動中の危険回避などの支援を受けている。

Aさんが利用しているサービスとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 同行援護
- 2 自立生活援助
- 3 自立訓練
- 4 生活介護
- 5 行動援護

12

**問題122.**

Aさんのサービス利用開始から6か月が経ち、支援の見直しをすることになった。Aさんの現状は、散歩では周囲を気にせず走り出すなど、まだ危険認知ができていない。

介護福祉職はルールを守ることや周りに注意するように声をかけるが、注意されるとイライラし、パニックになることがある。一方で、スーパーではお菓子のパッケージを見て、硬貨を出し、長時間その場から動こうとしない。

介護福祉職はAさんがお菓子とお金に注目している様子から、その力を引き出す支援を特別支援学校に提案した。

介護福祉職が特別支援学校に提案した支援の背景となる考え方として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 エンパワメント (empowerment)
- 2 アドボカシー (advocacy)
- 3 ピアサポート (peer support)
- 4 ノーマライゼーション (normalization)
- 5 インクルージョン(inclusion)